各　位

浦安鐵鋼団地協同組合
景況実感調査委員会

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(2023年5月分)

ご協力ありがとうございました。2023年5月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 143社　　回答 138社　回答率 96.5%

	前　月　比						前　年　同　月　比					
調査項目	10%以上増加・上昇・好況	やや増加・上昇・好況	横這い・平常	やや減少・下降・不況	10%以上減少・下降・不況	計	10%以上増加・上昇・好況	やや増加・上昇・好況	横這い・平常	やや減少・下降・不況	10%以上減少・下降・不況	計
売上数量	3社	14社	54社	40社	26社	137社	23社	15社	45社	35社	17社	135社
	2.2%	10.2%	39.4%	29.2%	19.0%		17.0%	11.1%	33.3%	25.9%	12.6%	
	(5.1)	(7.4)	(39.0)	(30.1)	(18.4)		(8.9)	(15.6)	(30.4)	(31.9)	(13.3)	
売上高	2社	15社	49社	47社	24社	137社	28社	24社	43社	27社	13社	135社
	1.5%	10.9%	35.8%	34.3%	17.5%		20.7%	17.8%	31.9%	20.0%	9.6%	
	(4.4)	(8.8)	(39.0)	(27.2)	(20.6)		(17.8)	(24.4)	(26.7)	(22.2)	(8.9)	
在庫数量	7社	18社	78社	25社	4社	132社	13社	23社	54社	25社	14社	129社
	5.3%	13.6%	59.1%	18.9%	3.0%		10.1%	17.8%	41.9%	19.4%	10.9%	
	(2.3)	(17.7)	(61.5)	(16.2)	(2.3)		(7.8)	(18.6)	(41.9)	(19.4)	(12.4)	
販売単価	1社	5社	117社	12社	1社	136社	25社	53社	38社	15社	4社	135社
	0.7%	3.7%	86.0%	8.8%	0.7%		18.5%	39.3%	28.1%	11.1%	3.0%	
	(0.7)	(6.7)	(82.2)	(9.6)	(0.7)		(24.1)	(35.3)	(30.1)	(9.0)	(1.5)	
収益状況(粗利)	3社	12社	67社	36社	19社	137社	11社	22社	48社	33社	22社	136社
	2.2%	8.8%	48.9%	26.3%	13.9%		8.1%	16.2%	35.3%	24.3%	16.2%	
	(2.2)	(5.2)	(60.0)	(22.2)	(10.4)		(5.9)	(12.6)	(43.0)	(28.1)	(10.4)	
稼働率(生産・加工設備)	0社	10社	59社	35社	13社	117社	5社	16社	55社	30社	10社	116社
	0.0%	8.5%	50.4%	29.9%	11.1%		4.3%	13.8%	47.4%	25.9%	8.6%	
	(0.8)	(5.1)	(61.0)	(24.6)	(8.5)		(3.4)	(12.1)	(51.7)	(22.4)	(10.3)	
入出庫のトラック台数	1社	11社	66社	40社	14社	132社	5社	14社	67社	35社	10社	131社
	0.8%	8.3%	50.0%	30.3%	10.6%		3.8%	10.7%	51.1%	26.7%	7.6%	
	(0.0)	(3.8)	(61.8)	(26.7)	(7.6)		(2.3)	(14.8)	(51.6)	(21.9)	(9.4)	
	現在の景況感						３ヶ月後の景況予測					
	0社	2社	58社	54社	19社	133社	0社	17社	99社	13社	1社	130社
	0.0%	1.5%	43.6%	40.6%	14.3%	100.0%	0.0%	13.1%	76.2%	10.0%	0.8%	100.0%
	(0.0)	(3.1)	(58.5)	(26.9)	(11.5)	100.0	(0.0)	(14.2)	(76.4)	(6.3)	(3.1)	100.0
特記事項												

注　①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
②(　)内の数字は前月のパーセントです
③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は特記事項欄に別途記載いたします
④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください

事務局　TEL：047-350-5311　FAX：047-350-5316

景況実感調査(2023 年 5 月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

① 建築関係の受注の減少と連休もあり、得意先を回ってもあまり良い話は聞かれない。売上と経費のバランスを今後の課題として見て行く方針だ。

② 稼働日数が減った分、減少となったが日割りは前月並み。価格も引合いも元気がなく、需要の無さを痛感する。一部、歯抜けもあるようだがタイト感はない。

③ 5 月の販売量は前月(4 月)と稼働日が同数であったこともあり同レベル。前年同期比では-7%。低調な需要状況は継続。市況としては安価な輸入材が徐々に増えており、じり安状態。

④ 5 月は稼働日見合いの数量となり、全般的に盛り上がりに欠ける状況。三品在庫は順調に減少しており、需要の回復を待つばかりである。

⑤ 建機だけは勢いをキープしている。いつ反動が来るか不安はあるが、取りこぼしなく対応していく。自動車の回復と半導体工場の建設需要を期待しつつ、荷動き回復までもう少し我慢か。

中板

① この数カ月の景況は、実需の低迷とその長期化が懸念され始めた 2020 年のコロナ不況期と様相が似てきた印象である。鋼板類は在庫調整が進んでいるように見えるものの国内供給の絞り込みによるところが大きく、今後の輸入材動向も、アジア市場が中国の増産から不安定化していることから、台湾・韓国の対日輸出の見通しも読めず予断を許さない状況ともいえる。自動車の本格的な復活を期待したいところであるが、今年いっぱいは我慢を強いられることを覚悟しなければならない。

② 店売りは建築物件が計画通り出て来ていないため、シャー業者は手持ちの仕事が少ない。三品在庫は久しぶりに 400 万トンを切ったが、需要も落ちているので市中は静かな状況である。もう少し現状が続くと思われる。

③ 中板は GW 明け後も相変わらず荷動きは低調。東京製鐵の 6 月売り出し価格は据え置きであり、市中も目立った動きなし。東鉄材の入荷遅れもあり、一部歯抜けサイズはあるものの、相場が変わるほどではない。単価を下げても販売量は期待できるレベルではないので、相場は崩さず価格維持に努めたい。

厚板

① ＜全体感＞厚板を扱う各分野においては総じて低調。好調といわれた建産機も弱含みへ下方修正。首都圏の建材案件は大型再開発で動きはあるものの、人手不足等で遅れが目立ち、中小物件は依然として低迷。薄板三品在庫の減少等、多品種では明るい兆しがあるものの、厚板のみ在庫過多で取り残されているような状況に感じる。＜分野別＞建機分野では、23 年度は前年度比で同水準か若干弱含みの期初計画であったが、下方修正する動きも出て来ている。産機分野は工作機機械受注額が 3 ヵ月連続で前年割れしており、部品調達問題は解消しつつあるが、外需を中心に先行きの需要は不透明。店売り分野は、中小建築物件の中止や延期が増えており、活気がない状態が続く。

② 一部メーカーの建設機械の 2023 年度の台数は 2022 年度と同程度で推移するとの予測である。店売り関連は人手不足による物件の延期、中止があり、なかなか数字が伸びない。

一般形鋼

① 連休後、15 日以降から荷動きが悪く、コロナ禍最盛期の如き状況で一部商品の価格軟化も見られ、来月もこの状況は続くと思われ、市況の行方が心配。

② 大型物件が秋口に出て来るが、街場案件が縮小している。

H形鋼

① 価格転嫁実行。5 月までの原料下落で、雰囲気的に上げにくいムードからか安値は切り上がったものの、一般市況認識としては停滞。入荷は値上げ玉がメインとなっており、上げにくい要因となっていたスクラップ市況も下げ止まり、メーカーへの下げ期待はすべきでない。建築中心の需要は端境期の様相であるが、今は我慢の時。製販共に来るべき需要に備えるべきだ。

異形棒鋼

① 5 月連休明け以降の荷動きは全く回復せず、期待外れであった。メーカーの姿勢を見て、市況は何とか維持しているが、売上は大きく減少して苦しい状況にある。

平鋼

① 5 月は稼働日が少なく、また GW の合間もほとんど荷が動かず、その分が落ち込んだ。今月(6 月)に入っても荷動きの悪さは変わらず。建築関係も端境期で低調。

② 5 月の店売り倉出し出荷は 4 月に比べて約 20%減となった。この要因は、3 月、4 月での仮需の反動と全体的な仕事量の少なさと思われる。建築案件は、加工品は変わらず忙しいが、土木関係は物件の谷間で 7 月頃より動く見通し。

軽量形鋼

① 中小物件の低迷が続くとの観測から店売りも暫くは低調な商いとなりそうだが、ここが踏ん張りどころと捉えてしっかりとした商売をしていきたいと思う。

② 閑散期が継続。受注状況は悪化が継続。先も見通せない状況。

鋼管

① 出荷は大幅に減少し、5 月としては 2020 年コロナ禍での数量をも下回った。全ての品種が低調で、先行きの引合いも少ない。

② コロナが 5 類変更となり経済活動全般の活況が期待されたが、前半の連休もあり稼働日が少なく荷動きも低調。ただし、市況は維持できている。

構造用鋼

① 需要については、自動車メーカーごとに濃淡が見られるが、回復までには至っていない。建設機械は堅調だが、工作機械、産機は海外需要の減少もあり低調気味。店売りは 4 月、5 月と低位横這い。紐付きは建機主体に底堅い。在庫はやや多い状態。価格はメーカーの販売姿勢が強く、当面は強含み横這いの予想。

磨棒鋼

① 自動車向け紐付き品は、調整局面が続いているものの、向け先によっては先行き回復傾向の物件も出て来ている。完成車の生産、販売は昨年比で 20%以上となっており中間在庫が順調に消費されれば、下期には目に見えて出荷が戻って来ると思われる。

その他

＜ナマシ鉄線＞

① 公共事業が夏場のお盆明けまで不需要期に入るため、案件数は低迷のまま。今年の初めから安い輸入線材が増えており、市況を下回る安値が目立ち始めてきた。公共事業が出現する時期までは現行値圏内で踏みとどまりたいところ。

＜鉄スクラップ＞

① 全体的に荷動きの悪い一か月だった。国内、海外メーカー共に積極的なスクラップ購入意欲は無く、プラスに転じそうな要因は見つからない状況。スクラップ相場に関しては様子見横這い。

＜金属表面処理＞

① 4 月に引き続き 5 月も紐付き、スポット共に順調だった。5 月は塗装案件が多く、工程の調整には苦労した。6 月もボチボチだと思う。